



↑発表基資料のPDFです

学校全体で取り組む SDGsを軸とした 探求(究)的な学びの実践

蒼下和敬 (くさもとかずたか)

前任校 山口県立響高等学校

現勤校 山口県立下関南高等学校

山口県立響高等学校

- 全日制普通科
- 1学年70人(35人×2学級)
- 統廃合により2020年3月閉校
- 学びに向かう姿勢の改善が課題



現行及び新学習指導要領

「持続可能な社会づくり」

に向かう社会参画に向けた教育



ESD

(Education for Sustainable Development)

「学習指導要領解説」(高等学校)の例示

地理総合、地理探究、公共、政治・経済、家庭、総合

The logo for Sustainable Development Goals (SDGs) is displayed on a blue rectangular background. The letters 'S', 'D', 'G', and 'S' are written in a large, white, sans-serif font, spaced out horizontally. Below the letters, the full name 'Sustainable Development Goals' is written in a smaller white font, followed by its Japanese translation '(持続可能な開発目標)' in an even smaller white font.

SDGs

Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)

国連総会で2015年に全会一致で採択された「世界の目標」。
世界の諸課題を17のテーマに分け、2030年までの解決をめざす。

地理等の諸課題学習として

2 つくる責任・つかう責任 (島木 清水 橋本)

〈現状〉

全世界の食品3分の1が捨てられている。

アメリカではお店と家で食べきれなかったものはお持ち帰りがOKな文化!

インスタ映えのする料理を注文してほとんど手をつけずに写真だけ撮って帰っていく人が多くなっている。


日本の食品ロス年間約621万トン


〜改善策〜

アメリカ: 外食の食べ残し食品を持ち帰ることも推奨している。


フランス: 売り残りや賞味期限切れの食品を廃棄することを禁止し廃棄量に合わせて罰金が出る。

1人あたり、毎日ごはんお茶碗1杯分を無駄にしている。



〈服〉 

服…水を多く使う。Tシャツ1枚作るのに必要な水の量は2720リットルといわれる。

↓  (1日の平均飲料水1人あたり約1.5Lとすると約5年分の水が使われることになる。)

まず綿花栽培に多くの水を使う。

- 毎年9200万トンの繊維が廃棄されている。
- 衣類の3R (リユース・リサイクル・リペア) 率が約26%
- 日本の衣類の約95%を海外からの輸入に頼っている。

つまり、何が言いたいかと言うと……

- ① 水の無駄使いをしない。
- ② なるべく食べ物を残さない。
- ③ 服を長く大切に着る。

11 住み続けられるまちづくりを (大田, 柴田, 永井)

持続可能なまちと地域社会

(まちや人びとが住んでいるところを、たれもが受け入れられ、安全で、災害に強く、持続可能な場所にする。)


1. 社会の現状

現在の日本は、少子高齢化が進み地震・津波・台風などの自然災害が多くなっています。

また、世界中で地球温暖化・大気汚染・水質汚濁などの環境破壊も進んでいます。

2. 具体的な事例

- 青森市…除雪費用の増大
- 富山市…行政サービスコストの増大



それぞれ個別の学習・活動内容を
コーディネートするツールとして

環境教育 / 情報教育 / 産業教育 / 防災教育 /
キャリア教育 / 消費者教育 / 主権者教育 / 国際理
解 (グローバル) 教育 / 平和教育 / 人権教育 / 道
徳教育 / ジェンダーと性に関する教育 / 教育の地
域連携 / ESD / 食育 / エネルギー教育 等々

それぞれ個別の学習・活動内容を コーディネートするツールとして



カリキュラム・マネジメントの回転軸（コア）として

既存の教育活動を再構築

SDGsの17の目標は、
日常的に学ぶ各教科科目の内容や諸活動を、
意味づけ・価値付けしてくれる媒介者となり、
学校の教育活動を活性化させうるのではないか。

「実現できそうなら、やってみる！」

2018年度後期(10月から)半年のプロジェクトとして

<冊子はp. 2の内容です>

土台づくり

初動で「誰ひとり取り残さない」
(教職員研修 + 全校集会研修 → 総がかり体制をつくる)

職員研修において
新学習指導要領研究会として研修を行い、
響高校版「カリキュラムマネジメント」を定義
づけ、その媒介者としてSDGsを採り入れるこ
とを提案。

臨時の全校集会において
SDGsの概要を説明し、今後あらゆる場面で
SDGsが登場し、生徒&教職員総がかりで本格的
に取り組むことを説明。

校内研修概要

研修実施日時 平成30年10月18日(木) 13時30分~15時30分

研修場所 大会ホール

参加者 教職員 全職員(計21名)

研修内容

- SDGsの概要を説明し、今後あらゆる場面でSDGsが登場し、生徒&教職員総がかりで本格的に取り組むことを説明。
- カリキュラムマネジメントの概要を説明し、今後あらゆる場面でSDGsが登場し、生徒&教職員総がかりで本格的に取り組むことを説明。
- 響高校版「カリキュラムマネジメント」の概要を説明し、今後あらゆる場面でSDGsが登場し、生徒&教職員総がかりで本格的に取り組むことを説明。

SDGsの概要

「Sustainable Development Goals」の略称で、日本語では「持続可能な開発目標」。

2015年9月に、先進国と発展途上国、国も発展途上国も参加し、あらゆる国が参加した。国連加盟国が採択した。国連加盟国は192カ国。

17の目標は「持続可能な開発目標」(SDGs)として、学校の教育活動に活用される。SDGsは学校経営に活用される。



響高校だより
平成30年10月
3rd issue

◎平成30年度後援生後援会スタート!!

◎第2回『SDGs Project』発表!!

◎オープンキャンパス・インターンシップ等機会実施!!

◎校内読書大会開催!!

←学校だよりなどでの紹介

＜冊子はpp. 3-5の内容です＞

土台づくり

「響高校をSDGsだらけにします！」
(「なにが始まるんだ？」という感覚を持たせる)

H i b i k i S D G s P r o j e c t

～だれひとり取り残さない～



各教室
職員室
・事務室等に
貼り付けた

<冊子はp. 8の内容です>



生徒は筆箱やファイル帳に



先生は「指導記録」等に



基礎学習

(地歴公民科)

SDGsとは何か。
どのようなものが17の諸課題に
まとめられているのか。



<冊子はpp. 6-7の内容です>

SDGs活動活性化 への手立て



SDGsシールとシールコーナー(校内4カ所)



<冊子はp. 9の内容です>



11 住み続けられる
まちづくりを



数学Ⅲ：限られた条件の中で最大限の容積を確保する



12 つくる責任
つかう責任



16 平和と公正を
すべての人に



地理B：調理実習をしながら世界の宗教と生活を学習

学習内容の紐付け

(各教科・科目、教育活動における学習活動)

今学んでいる内容は、
どのような諸課題に向き合う
ものとして捉えられるか。

各教科・科目、諸活動の中で、
生徒の方から

「これは○番の課題目標に関係しませんか」
という声が自然発生的に上がるようになった

<冊子はpp. 10-18の内容です>



(①はプリント【8】で学習して

【日本の労働問題】

- (1) ハラスメントの問題…嫌がらせや相手を不快にさせる行動
 - ① (1)) ハラスメント…嫌がらせ。1980年代後半からよく使われはじめる。
 - ② (2)) ハラスメント…職場で地位・役職が上の人が、部下に対して精神的・身体的
 - ③ (3)) ハラスメント…職場で妊娠している、または出産した女性に対してお
 - ※「カスタマーハラスメント」って？… (4)) が従業員・店員に対しておこなう嫌
- (2) 残業・過労死の問題
 - ①労働基準法(1947年制定)では、「1日(5)時間、1週間に40時間を超えて労働させてはな
 - ②サービス残業の多い企業のことを(6)企業と言う。
- (3) (7)) 社員増加の問題
 - ①パート・アルバイト・派遣社員・契約社員などのこと
 - 賃金の格差(8あり・なし)、社会保険(9あり・なし)(ケガ・病気で通院しても全額負担
 - さまざまな手当(10あり・なし)(通勤手当、住宅手当など)、(11)) 休暇なし、
 - ②雇う側が、「使い捨て」をしたり、違法な長時間労働をさせたり、不当に退職させたりの間

【日本の少子高齢化と労働問題】

- (1) 日本の平均寿命(2015年)
 - ①男性(80.79歳)世界4位(韓国・アイスランド・スイス) ②女性(87.00歳)
- (2) 日本の合計特殊出生率(2015年)(一人の女性が生涯に産む子どもの数)
 - ①答え:(13)1.06人
 - ②人口を維持できる水準は「2.07人」といわれる→これからは人口()む
 - ※日本の人口は、2100年には8300万人になる予想!

5 ジェンダー平等を
実現しよう

これからの日本は、労働力(15過剰・不足)が深刻になる(なっている)

【GW① 日本はどうしたらよいの?】

.....

【GW② どのような問題点があるの?】 ← (16)

.....





情報と知恵の共有

Hibiki SDGs Project 2018
SDGs通信
2019/2/21 (Thu.)



①小車小学校×晋高校→SDGs学習交流会！

2月15日(金)、みなさんがSDGsを学ぶの場として、長い時間をかけて企画・準備してきた小車小学校の小学高生のSDGs学習交流会が、ついに本番を迎えました。

小学高生×高校生が協同してともにSDGsを学ぶ取り組みは、実は日本国内では初めてとなります。最初は無謀な企画かもしれないと感じた人もいたかもしれませんが、教習学者が「一歩は『どんなに難しい字でも、仮定を具体的で丁寧にすれば、科学的なことも理解できる』と述べています。みなさんは、この交流会に向けて、改めて小学校の数学年でも分かるように何枚も資料を作り直したり、シナリオを直し直したりと、要領を重ねてきました。みなさんの取り組みの様子は大変賞賛が寄せられており、また先方も一緒に企画に加わってくださり、習熟度一つ一つによって目標に向かっていける姿は印象的でした。

実は小車学校は、ずいぶん前から「高校生はいつくるんぞ」と先立に楽しみにして大それた準備は、そのした小学校の危機感や学びに対する真摯な情熱が私たちを心を掻き立て、私たちも一歩前進に促さよと誓めることができました。学習交流会は小学生から大先輩研習したことで「全部は私からしるるを私にならた。両りも全額聞いてしるるをマズーしたい」とか「次はいつきてくれるんぞ」という声があつたそうです。

学習交流会のあと、有志の習熟生20人がるんずつに分かれて各学年の教室で給食交流を行いました。その最終のみは、丹でサウーや鬼ごっこ、一輪車を走らしたり、ウサギ小車屋やフルーツバスケットを楽しみたりして過ごし、帰るにはお互いに別れを告げる様子が見られました。SDGsを軸として、地域の小学生と高校生の交流が深まり、お互いにとって学びの多い一日とすることができました。



②SDGs学習交流会の発表資料を展示しています！

小車小学校での学習交流会でみなさんが作成した発表資料などは、管理棟保健室側の階段の展示にしています。みなさんが

一生懸命に作成した成果を一望できますので、是非足を運んで、自らの振り返りや他校の学習に役立ててください。



※各年の発表の様子を掲示しました。(西沢真樹)

※高校の発表資料を全て展示しました。(管理棟階段)

③八咫の家さんと連携した交流会が終わる

2月11日(火)の昼休みに、SDGsを軸として最後の校内販売(交流会)が実施されました。八咫の家さんは、様々な生活の場を創出する機会を提供することによって、改めてその一環としてパンの製造・販売をされています。日頃から「おいしい!」と評判のパン屋さんでしたが、S

DGsとして取り組んで以来、多くの人から賛同してくれ、積極的に交流に来てくれたり交流を深まってくれたりしていただきました。最終日には、「これまでありがとうございました」という生徒のみんもの挨拶も聞かれました。なお、八咫の家さんは毎年も定期的に通常の販売にも来てくれます。



↑写真は、3年生が作った商品の校内販売の様子です。(3/20)

④中国電力さんを迎えたSDGs学習会を実施

2月11日(火)の午後に、中国電力株式会社の社員の方を招いて、SDGsの観点からの学習会を実施しました。

学習会では、電気という生活に欠かせないライフライン、災害などの緊急時等でも安心して供給し続けるためにどのような事業継続計画(BCP)を設定しているか、また企業として危機管理にどのような向き合い方について、電力会社の基本的なところからお話しいただきました。



↑中国電力さん

<冊子はpp. 21-33の内容です>

今週のイチオシSDGs

この1週間で出会ったイチオシのSDGsを紹介してください。
(原稿はそのままSDGs通信で全校生徒・職員に配付されることがあります)



■日付、教科・活動名、該当する番号、学習して学んだ内容を紹介してください。

月	日	() 教科・活動名等【

年 組 番 名前

Hibiki SDGs Project
～誰一人取り残さない～

11月19日(月)	教科・活動名等【政経】
8	日本の労働問題について学んだ。今の日本の問題としてどうやって外国人労働者を取り入れ労働問題を解決していくかなどについて話した。
11月15日(木)	教科・活動名等【ホームプロジェクトの発表】
4 or 17?	豊北高校で家庭科のホームプロジェクトを発表しました。トップバッターとしても緊張はありましたが協力して発表することができ、色々な人の発表と聴いて学ぶことができました。
11月20日(水)	教科・活動名等【地域清掃】
11	。最近、地域のゴミステーションが明らかにと開いたのでおはあちさんと片づけました。皆がマナーを守ればいいのになと思いました。
11月14日(木)	教科・活動名等【なし】
17	新しい病院ができると、昔の病院がどんととりにわかになっているけど、周りと困ると、人にめいわくかけないようにしていたのですごいなと思いました。
11月14日(木)	教科・活動名等【日常生活】
13	コンビニでレジ袋を有料にするかしれないという話を聞いて、コンビニまで袋を有料にされると困るなと思いました。けどどこまでいいといかないという実態を受け止め、自分なりにエコに貢献したいです。

<冊子はpp. 21 - 33の内容です>

Hibiki SDGs Project Check!!

それぞれの授業や活動で17のゴールに関連すると感じた内容を紹介しましょう。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
授業	1																
LHR 総合																	
部活動																	

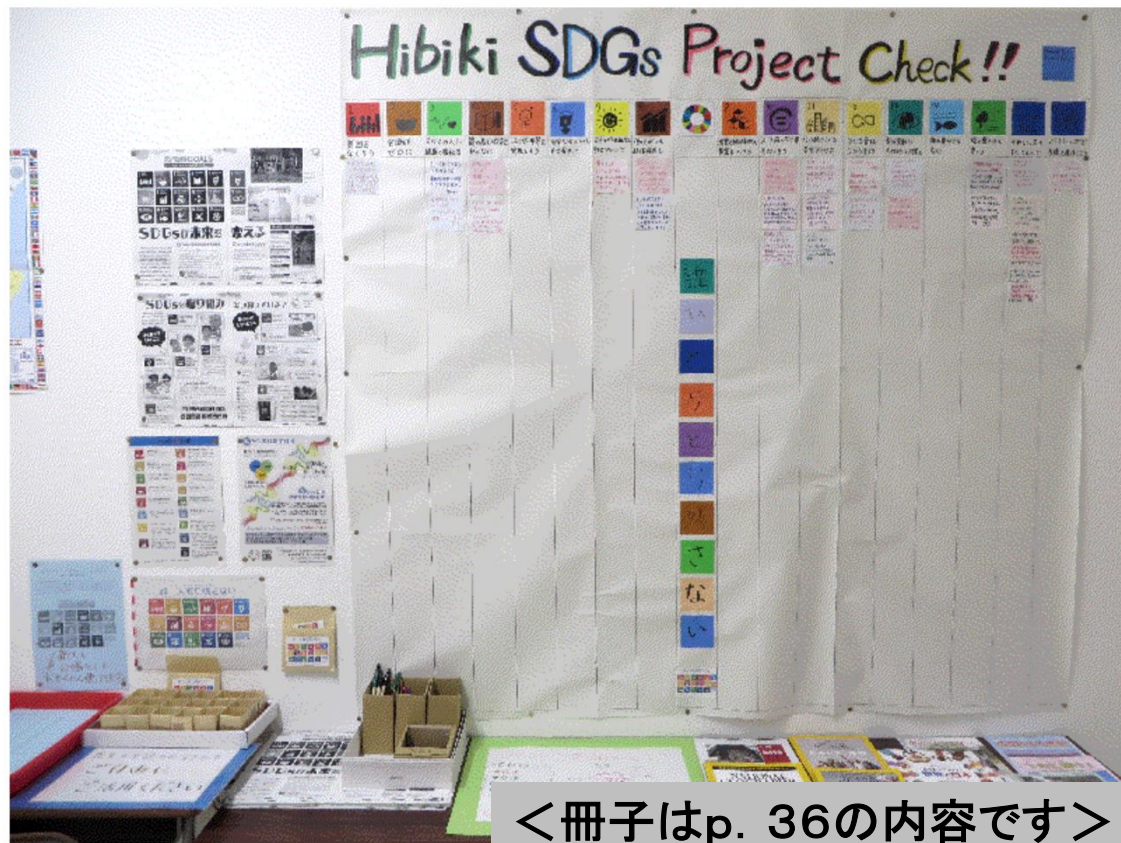
地理B (3年)
10月26日 (金) ⑤

穀物生産量>消費量
なのに世界で飢餓が
発生している理由に
ついて調べて学んだ。



「カリマネボード」

Hibiki SDGs Project Check!!



<冊子はp. 36の内容です>



SDGs関連記事紹介コーナー



全て生徒の発案



企業CSR資料紹介コーナー



SDGs関連書籍サテライト図書館コーナー

JICA「地球ひろば」の図書展示を参考

<冊子はpp. 34-40の内容です>



SDGs通り (その①)

<冊子はpp. 34-35の内容です>

キーワード 「響を全部SDGsに！」



実社会の 取り組みを学ぶ

いまある「資源」を土台として
学んでいることの有意味性の理
解と真正の文脈付けを強化



NPO法人「八起の家」と連携した
ソーシャルビジネス理解
⇨人権教育学習の本年度テーマ

<冊子はpp. 19-20の内容です>

保護者が特別授業 響高

企業の社会的責任活動学ぶ



サントリーが取り組む森林整備や愛鳥活動などについて紹介する吉田裕子さん（右）=25日、下関市

下関市豊浦町小串の響高校で25日、保護者が講師を務める特別授業があり、全校生徒約140人が企業が取り組むCSR（企業の社会的責任活動など）について学んだ。

サントリーの森林整備紹介

2年の吉田真さん（17）の母裕子さん（51）が講師を務めた。裕さんは飲料大手サントリーグループのサントリーP（本社・東京）に勤務し、授業ではサントリーの森林整備活動などについて話した。原料であり共有資源でもある水を守るために行う森林整備、愛鳥活動の理念や概要などを紹介。「人が一人で生きていけないように、企業も単体ではやっていけない。利益を地域社会に返していくことが必要」と強調した。

特別授業は、世界の諸課題を途上国の貧困や地球の気候変動など17分野に分類し、2030年までに解決を目指す国連提唱の取り組み「SDGs」（持続可能な開発目標）を学ぶために実施。生徒たちは吉田裕子さんの話を聞きながら、SDGs達成に役立つヒントを探った。

2年の立石皓輝さん（17）は「同級生のお母さんから授業を受けるのは不思議な感じだけど、先生に負けないくらい分かりやすい説明で興味深かった」と話した。

保護者を講師に招いた
企業CSR理解学習会（1/25）

<冊子はpp. 43-48の内容です>

「明日も来たい学校」づくりへ貢献

（クラスの様子・素敵だと感じた出来事などを100字以上書く）

今日は朝からくもりだ。長かった
ので少し嫌でした。暑命カキ
SDGsのニールを集めたから
るのも楽しいし、それにフ
いで学べるのも楽しいので
これからは続けてほしいで
す。これからはがんばりに
いであ!!! の映画ほめちやこ

（クラスの様子・素敵だと感じた出来事などを100字以上書く）

今日の数学では、大田さん
の発想によって、授業がク
したけ面白かったです。SDG
由は、大田さん達がSDG
のニールが欲しいと言っ
て、新しい問題の解き方
発見し、藤本先生が海いし
ほめていたからです。シ
ル女着ったかどうかは分

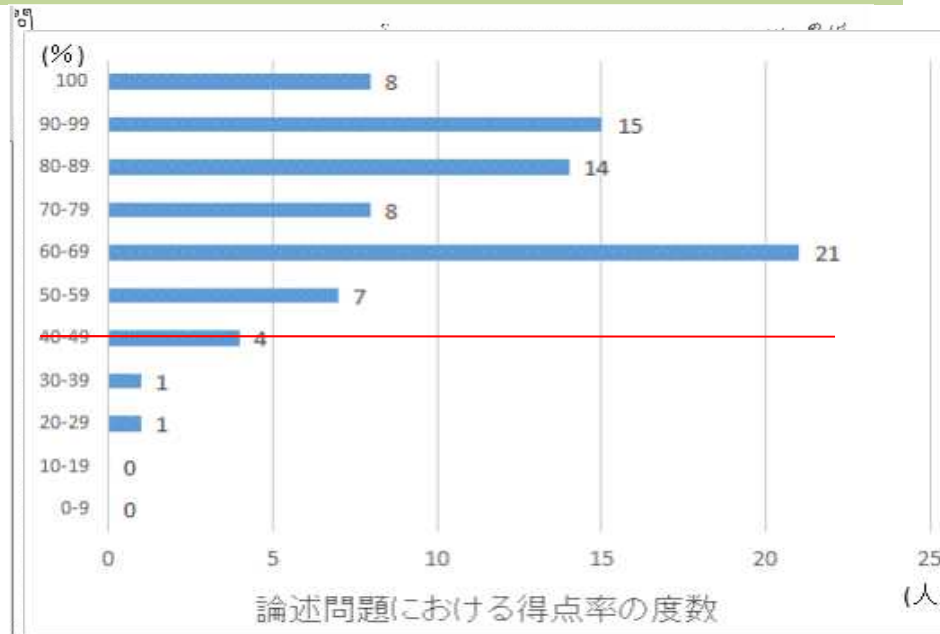
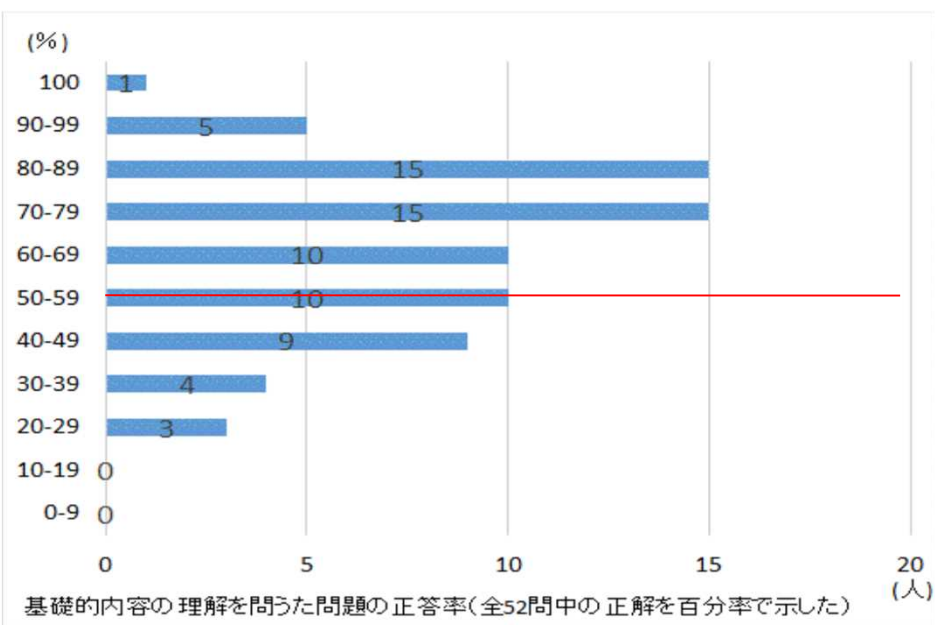
生徒の当番日誌の記述

効果の検証

I 評価問題による検討

<冊子はpp. 49-62の内容です>

各教科・科目でSDGsに関連付けた考査問題等



基礎的内容の理解度を問うた問題の正答率

改善 論述問題における得点率

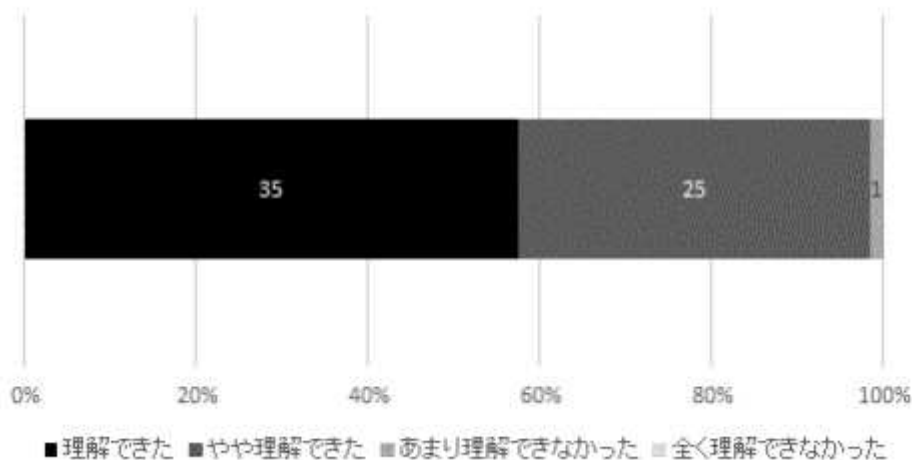
Ⅱ アンケートによる検討

<冊子はpp. 82-86の内容です>

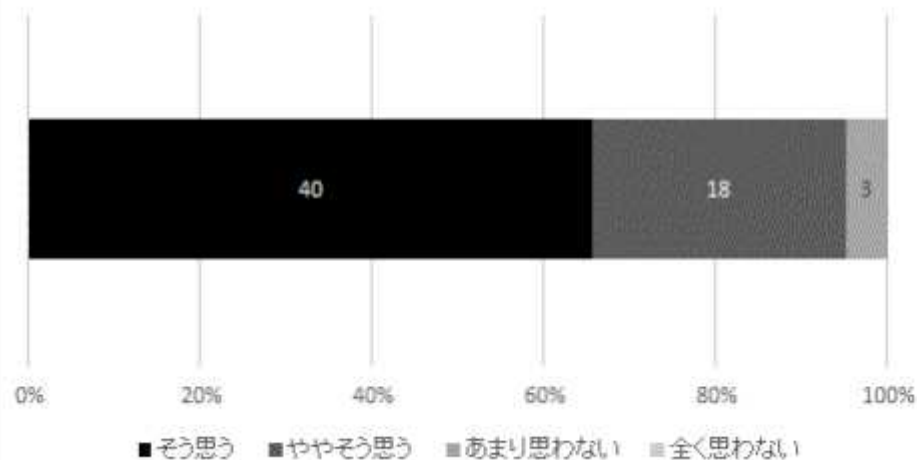
Q. あなたは、「SDGs」の取り組みがどのようなものか、自分なりに理解することができましたか。

Q. あなたは、響高校で「Hibiki SDGs Project」の活動を振り返って、やってよかったと思いますか、思いませんか。また、そう思う理由を書いてください。

2年生



2学年



SDGs学習の総仕上げ 学びを他者と共有する

<冊子はpp. 63-81の内容です>

閉校を迎える閉塞感、対外的(異なる年齢集団との)交流の不足、
学習成果のアウトプットと学びに対する
自己効用感

過疎地域として向き合う持続可能性
(全校児童48人)、コミュニティスクール
としての対外交流、「持続可能な社会
づくり」学習の工夫

響高校生 × 地元小学生



SDGs 学習交流会

Hibiki SDGs Projectの総仕上げ

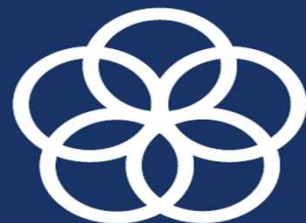
11 住み続けられる
まちづくりを



4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



地域の小学生に SDGsを教えて みんなで課題に
向き合おう！

小学校の先生

になって活躍してもらいます

<生徒に説明したプレゼンの一部>

<冊子はpp. 63-81の内容です>

みなさんのSDGsについての 知識や思いを

- シンプルな内容を
- わかりやすい言葉で
- 絵やグラフなど具体的に
- たのしそうに



<生徒に説明したプレゼンの一部>

子どもたちに伝える

開始直後

小学生に分かりやすくおし
ゆ、く)し、かり作、こい
か考え、ました。まだ、ま
ふた、い、で、あ、小、学、校、に、行、く
の、も、と、も、楽、し、み、で、す、!!
の、も、と、も、楽、し、み、で、す、!!
の、も、と、も、楽、し、み、で、す、!!

途中から

今日もSDGsのこ
は、た、り、小、学、生、に、も、分、か、り、
よ、う、に、工、夫、し、ま、し、た、。、
に、言、葉、を、お、ま、か、え、る、だ、け、だ、
か、ら、す、ご、終、わ、り、と、思、い、こ、
た、け、ど、案、外、す、ご、く、難、し、
と、時、間、が、か、か、り、さ、う、だ、と、感、
じ、ま、し、た、。、進、ん、で、い、る、印、度、
じ、ま、し、た、。、進、ん、で、い、る、印、度、

貴重な機会に…

SDGsの資料作り
・学んだことや考えたこと: 分かりやすく教える
の、け、大、変、。、失、生、す、こ、い、。
(クラスの様子・素敵だと感じた出来事などを100字以上書く)
今日、世界史の授業と地
理の授業でSDGsの小学
生向けの資料をつくりまし
た。分かりやすく、言葉をか
えたり、なるべくイラスト
を多く取り入れるなど工夫
をしてみました。思うとかりに
でき、な、い、と、こ、ろ、も、あ、り、ま、し、
た、。、各、班、の、み、ん、な、で、協、力、し、あ、
て、い、ま、し、た、。

<冊子はpp. 63-81の内容です>



＜冊子はpp. 63-81の内容です＞

SDGs

～みんなが幸せになるための世界の「めあて」～

<p>1 貧困をなくそう</p> <p>貧しくして生活に困っている人をなくそう。</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p> <p>食べるものがなくて困っている人を減らそう。</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>みんなが元気で安心して過ごせるようにしよう。</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>いつでもだれでもいきいきと学べるようにしよう。</p>	<p>5 ジェンダー平等を推進しよう</p> <p>男の人と女の人とも差別をしないようにしよう。</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>どこでもだれでもきれいな水が使えるようにしよう。</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>だれもが電気や燃料を安心して使いつづけられるようにしよう。</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>だれでも安心して働くことができるようになるようにしよう。</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>みんなの暮らしが豊かになるような技術やものづくりをすすめよう。</p>	<p>10 人や国を超えて差別をなくそう</p> <p>相手の国、人を大切に思い、差別のない世界にしよう。</p>	<p>11 安全な住みかたを実現しよう</p> <p>みんなが安全で安心して暮らしているようにしよう。</p>	<p>12 つぶやみ消費を促そう</p> <p>資源を大切に暮らそう。</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>地球の状況がこれ以上悪くならない方法を考えよう。</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> <p>海を汚したり、海の生きものを減らしたりしないようにしよう。</p>	<p>15 陸地の豊かさを守ろう</p> <p>陸地を壊したり、陸地の生きものを減らしたりしないようにしよう。</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> <p>相手をいじめたり、傷つけたりすることがない世界にしよう。</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>どんなことでも、協力あつて達成しよう。</p>	

<小学生用に作り直したSDGsシート>



図2 学習交流①(1)

<冊子はpp. 63-81の内容です>



学習交流会当日の様子

<冊子はpp. 63-81の内容です>



＜冊子はpp. 63-81の内容です＞

響高生が説明役 SDGsを学ぶ

小串小の児童48人



SDGsのテーマの一つ、貧困の現状について、クイズ形式で小串小の子どもたちに説明する響高校の生徒ら。下関市豊浦町小串

69人の説明を受けながら、日本と世界が抱える問題について学んだ。

SDGsは、ジェンダーや人と国の平等、気候変動といった17のテーマについて、2030年までに達成をめざす目標。響高校では今年度から、各科目を横断的に学びながら社会とのつながりについても考える力を養おうと、SDGsを教育に取り入れている。

響高校の大久保遥夏さん(17)は安全な水と衛生のテーマを担当した。「水くみの大変さを感じてもらったため、ペットボトルが入ったバケツを運んでもらった。イラストも駆使したが、小学生に分かりやすく説明するのは難しかった」

小串小4年の藤本和さん(10)は、飢餓が一番印象に残ったという。「いつも給

食を食べているけど当たり前前ではないと初めて知った。家が農家なので、うちのお米をいろんな人に食べてもらえるようにしたいなと思った」と話した。

小串小学校 X 響高校 → SDGs 学習交流会



協働のストック

<冊子はpp. 63-81の内容です>

交流会直後の感想文

<冊子はpp. 63-81の内容です>

これまでの準備はとて大変で長かったけれど、今日の学習交流会が成功したのでとてもよかったです。学習した後に、その日は終わるのではなく誰かに伝えることで自分自身もより深くSDGsについて知ることができました。しかも、小学生なので余計にむずかしく言葉選びも大変でした。小学校の先生には、言葉を上手に使ってほしいと尊敬します。

私は70番を担当しました。なかなか、小学生向けのいいしぼりがいい説明のし方が分からず、そこの1番苦しかったです。でも、資料を集めて、作ってうちに1班のみんなが来て、こいつこうして5人が来てたエムになって、結果いいのができたので良かったと思います。小学校は私の母校で知っている子もたくさんいたけど、みんな行事が楽しそうだったので、やっぱり良かったと思います。

私は、SDGsの学習をしていて、この目標が全部達成できるようにいろんな人に知ってもらえることが大切だと思います。私たちが伝えられることを今日のためにもっとと伝えていってほしいなと思いました。とてもいい経験でした。

自分はお礼発表ごとが好きではないので、この学習交流会は正直やりたくありませんでした。今も別にすごくやりたいたはなっていないけど、準備をしていくうちに内容をどうしたらわかりやすいかなどをたくさん考えて、言葉づかいも小学生に合ったわりやすい方がいいかなどを悩んだり、作用していきながら、とても楽しかったです。

リハーサルで、ほかにほめられ一発でOKもらったのもすごくうれしかったです。

発表ごと、又前に立つのが苦手なので、こんな機会がなかったらいいかなと思うのが良い体験だったのかなと思います。

今回は高校生が相手ではなく、小学生が相手だったので、たくさん工夫が必要でした。文字ばかりは興味を引けないのでイラストを多めにしたり、実際に体験させていたり、話し方を変えたりとたくさん考えました。今日は自分が思っていたほど小学生を呼ぶことができなかったことについて後悔しています。もう少し小学生の興味を引けるようなことができればよかったと思います。SDGsをいろんな人に知ってもらえるように、今日のような学習会をたくさん聞いていけるいいと思います。大変なことだったけど、やりがいや達成感を感じることができてとても満足しています。誠行錯誤でよかったです。

<冊子はpp. 85-86の内容です>

響高校でSDGsのプロジェクトを始めてから、ニュースを見にしたときにこれはSDGsの〇番に当てはまるんじゃないかな?と、自分の意見を持ちやすくなりました。このプロジェクトのおかげで社会に少し興味を持ちました。世界には色々な問題があるけど、それバカしでも改善できるように、私ができることを気にして実行していきたい。

この取り組みで学校全体の一体感がすごく高まったし、授業を受けたりSDGsのことを考えることにより自分も社会の一員に仲間入りできた気がしてすごく嬉しかったし楽しかった!!

このSDGsの企画があってからは「先生=これは〇番ではないですか?」と授業でみんなイキイキしていたし、自然とSDGsが身近になり、いろいろな方向に進んでいると思います。

SDGsのシールが欲しいから授業の内容を前よりちゃんと聞く人が増えて、寝る人も少なくなる人が少なくなったと思います。授業の内容よりシールがほしいけれど、授業中静かにいることが増えたりしているのがよかったです。

SDGsの活動をするようになって、授業の内容が何番に関係しているかを考えたし、パン交換の取組をしてみんなシール集めを頑張っているのを見て単純にだいたいと感心しました。
学校全体でこのような取り組みをするのが大切さが改めてわかりました。

全体を振り返って ～生徒の自由記述より～

響の人がみんな協力的でシールをたくさん集めている姿を
見ていると心も温かくなります。シールを集めることで、
自分自身にできることを学ぶことができたり、誰かが
役にも立っているのは素晴らしいと思います。
私もたくさん学んでいきたいと思っております!!!!!!

普段の授業を社会問題と関連づけることは、より多くの
ことを学べたよという思い。シールなどを配ることは、関連
がわかりやすく、発見がしやすくなり、活気がついたと
思う。

先生達が生徒達をやる気にさせるような
企画をしてください、してくれるので。
楽しくシールを集めたり学んだりと
かができると思います。これからはよく考えて
シール集めをがんばりたいです。

それぞれの課題や目標のことでみんなよく理解して、授業の内容がどの
SDGsにあてはまるかなどを自分で考えたりすることが、とても良かったと思
いました。先生からどれにあてはまるかを聞くのではなく、自分で考えることで、
よく理解することができたと思います。

主な成果と課題

主な成果

- 生徒の学習姿勢が向上し、学習結果に表れた
 - ・今学んでいることが何の役に立つものなのかという価値付け(レリバンス)を高められた。
 - ・授業等の取組姿勢が向上し、定期考査等の結果に大きな差が見られた。
- カリキュラム・マネジメントを充実させることができた
 - ・各授業や諸課題学習等の内容の教科横断的な関連付けが無理なくコーディネートできた。
- 様々なチャレンジを通して、響高校の一体感が感じられ、校内が活性化した

主な課題

- SDGs そのものの理解に時間がかかる
- 常に創造的・挑戦的である必要があった
- 取組みやすい教科・科目と難しい教科・科目等が見られた

「Hibiki SDG s Project」のその後

「39 Hibiki Project」へ



人権教育全校集会の計画について

各種活動の中で

0. キーワード

学習内容： 日本国憲法の下における平等 / 障害者就労支援 /

教育活動： 人権教育 / SDG s / 地域と連携した教育

- ▶ SDG s : 8「働きがいも経済成長も」、10「国や人の不平等をまちづくりを」、17「パートナーシップで目標を達成し

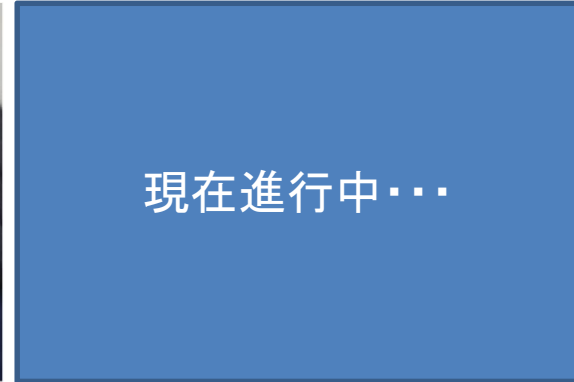
1. 目的

- ▶ 地域において障害者就労支援活動に取り組むNPO法人の



各教科の中で

日々の授業の中で、
SDGsに関わる内容を
確認した授業の実践



現在進行中...

SDGsフロンティアとして

8月のJRC(青少年赤十字)
山口県研修会等では、
役員校として他校に説明

「南高でSDGsを見つけよう！」

目 標

日常の学習や諸活動をSDGsの視点から捉え直すことにより、SDGsと社会的課題への理解を深めるとともに、日々の授業や諸活動が社会的課題に向き合うものであるというレリバンス（学びの必然性）を高める契機とすることができる。

内 容

全4時間（構想・作成3時間+発表1時間）

- ①南高での学びや活動の中で、地域や社会の課題に向き合うと思うものを思いっただけカードに書き込む。
- ②各個人が書いたカードの内容がSDGsの何番の課題目標に該当するかを話し合って分類する（グループワーク）。
- ③各班で「テーマ」と「まとめ方」を決め、模造紙1枚にまとめる。
- ④ポスターセッション形式で各班が発表し、生徒は各班の発表を見て相互評価する（ポスターセッション、相互評価）。

記入カード

<p>17番</p> <p>教科 南高祭 活動 2年の6月頃</p> <p>学んだ/取り組んだ内容 みんなの思いが強く、意見が衝突することもあるが、一番の思い出になった。相手と向き合い、共に乗り越える大切さを感じた。</p>	<p>12番</p> <p>教科 家庭 活動 1年の2学期</p> <p>学んだ/取り組んだ内容 調理実習で、他のクラスよりも残さずを出してあげた。計画的に作り、フードロス削減を意識した。</p>	<p>5番</p> <p>教科 保健 活動 2年の学期</p> <p>学んだ/取り組んだ内容 性別と恋愛について学び、パートナーと大切に思い、自分の責任をしっかりと果たす大切さを感じた。</p>	<p>10番</p> <p>教科 現社 活動 3年の学期</p> <p>学んだ/取り組んだ内容 授業で尊厳殺人を学んだ。定額など、法の下での平等について学び、平等の大切さを感じた。</p>
--	--	---	--

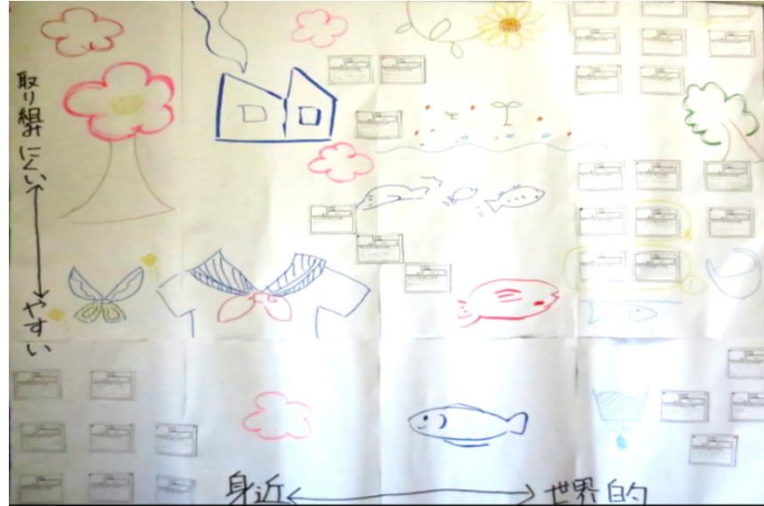
授業の様子

構想・作成活動の様子

班発表の様子

学習成果物の例

17テーマに分類して比較したもの



取り組みやすさ × 身近 ↓ グローバル で評価付け



場面・場所を可視化したもの



「取り組みたい度」で並べたもの

生徒の感想から

たった17に分類された目標なのに、それに関わる問題は数え切れないほどあって考えれば考えるほど出てきた。中には普通に過ごしても解決につながるものもあって驚いた。

「持続可能な開発目標」といわれるといったい何をすればいいのかわかんないって思いましたが、それを17コに分け、1つ1つに分かりやすい題(?)がつけられていて、誰にでも分かりやすく、取り組みやすくなっていた。

世界の課題や解決策が思ったよりも、自分の日常生活の中で発見できると知り、何となく学んできたことが、実は世界の課題に取り組む土台だったということを感じた。SDGsを考えるだけでも意味があると思った。

SDGsの趣旨はよくわかった。が、実際に2030年までにすべてできるんだろうか。厳しい。それでも、やらないよりは断然いい。

バタバタしていたので、もっと時間をかけてじっくりやって欲しいです。



↑発表基資料のPDFです

学校全体で取り組む SDGsを軸とした 探求(究)的な学びの実践

本日は、ありがとうございました。

蒼下和敬（くさもとかずたか）

前任校 山口県立響高等学校

現勤校 山口県立下関南高等学校